

Title	第五十一巻自第七号至第十二号総目次：昭和三十三年下半期
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1958
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.51, No.12 (1958. 12) ,p.1- 4
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19581201-0093">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19581201-0093</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田学会雑誌

第五十一卷

自第七号  
至第十二号

総目次

(昭和三十三年下半期)

論 説

題名	著者	号	頁	通頁
農業集落の性格規定について	小池基之	七	一	五五七
紀州熊野一揆について	速水 融	七	二〇	五七六
所得—余暇撰好場の測定(一)	尾崎 巖	七	三七	五九三
グループワークの社会事業における位置	小島 栄次	八	一	六五五
フランク時代における comitatus の展開	宇尾野 久	八	一五	六六九
賃金・雇用分析の計量的基礎—家計の労働供給機構の計測と理論	小尾恵一郎	八	二九	六八三
リユーベック市の生誕	高村 象平	九	一	七四七
十九世紀後半におけるイギリス資本主義の変貌と労働組合運動の変転(その二)	飯田 鼎	九	一一	七七七
—労働者階級と政治運動、とくに一八六七 —年の第二次選挙法改正の意義について	白井 厚行	九	三一	七七七
トマス・ホジスキンの「労働擁護論」	野地 洋	九	三二	七七七
—その自然法思想と —経済学について	森 敬	九	四九	七九五
グッドウインの非線型景気循環理論				
—その微分・定差混合方 —式モデルの新図式解法				

トランスファー理論.....	大宮 慎一	九	六九	八一五
本多利明の農政論(統)——その経済政策の性格.....	島崎 隆夫	十	一	八四一
成長理論と分配——カルドア・モデルに関する若干の論評.....	大熊 一郎	十	一七	八五七
産業国有化政策の意義とその限界——英国労働党の直面した問題を中心として.....	丸尾 直美	十	二七	八六七
管理の機構と人間関係.....	青沼 吉松	十一	一	九三七
経済学史上における最低賃金制論の形成.....	黒川 俊雄	十一	三一	九六七
value capture 考.....	渡邊 國廣	十一	四五	九八一
古ハワイにおける漁業.....	野村 兼太郎	十二	一	一〇二一
「科学的経営」の機構と原理.....	青沼 吉松	十二	一四	一〇三四
寡占と価格決定.....	原 豊	十二	三〇	一〇五〇

資 料

資本主義的拡大再生産の歴史的考察 ——ドイツ科学アカデミー・経済科学研究所年報第I巻(一九五七年) 所収・Jurgen Kuczynski; Zur Geschichte der erweiterten Reproduktion unter dem Kapitalismus.....	常盤 政治	七	五九	六一五
相関係数と multicollinearity.....	佐藤 保	七	七二	六二八
不均衡の経済表に就て——ウーグ博士の『フランソワ・ケ ネーの経済表』を中心として.....	渡邊 建	八	五七	七一

社会主義的所有の二つの形態と価値法則——顧準の所説について.....	平野 絢子	十	四一	八八一
ケネーの経済表とマルクスに就て——越村信三郎教授の『ケネー 経済表研究』を中心として.....	渡邊 建	十	五六	八九六
仮説の選択と相関係数.....	佐藤 保	十一	六一	九九七
De "ceteris liberis hominibus quos vocant bhargidi".....	宇尾 野久	十二	五一	一〇七一
ジョン・フランシス・ブリーの「エートピアからの航海」について.....	飯田 鼎	十二	六五	一〇八五

書評及び紹介

パンカースト著『サン・シモン主義者ミルおよびカーライル——近代思想序説』.....	飯田 鼎	七	八七	六四三
住谷悦治著『日本経済学史』.....	飯田 鼎	八	七八	七三二
ねづ・まさし著『批判日本現代史』.....	寺尾 誠	八	八三	七三七
Chester I. Barnard, 'The Functions of the Executive'.....	青沼 吉松	九	八三	八二九
モーリス・フォーク著『保 険』.....	庭田 範秋	九	八六	八三二
木村栄一・高木秀卓共訳『ドナ・トーア著』.....	庭田 範秋	十	七六	九一六
ドナ・トーア著『トム・マンとその時代』.....	庭田 範秋	十	八一	九二一
岡部寛之著『保険学新講』.....	原 豊	十	八六	九二六
武山泰雄著『アメリカ資本主義の構造』——寡占経済とその社会意識.....	飯田 鼎	十一	六七	一〇〇三
田中惣五郎著『吉野作造——日本のデモクラシーの使徒』.....	飯田 鼎	十一	七一	一〇〇七
W. Kalweit 著『現代資本主義における物価騰貴の諸原因について』.....	北原 勇	十一	七一	一〇〇七

飯田鼎著、『イギリス労働運動の生成』(有斐閣)によせて	小川喜一	十一	七八一〇一四
K・E・ポールディング『経済政策の原理』	加藤寛	十二	八一 一一〇一
L・W・フィリス著『団体保険の研究』	庭田範秋	十二	八五 一一〇五
本城俊明訳			